

重層的支援体制整備事業について

ひらかたし

(大阪府 枚方市)

枚方市の概要



人口 394,974人
世帯数 185,333世帯
面積 65.12km²
(2023.5.31現在)
高齢化率 28.90%
(2023.7.1現在)

枚方市キャラクター
ひこぼしくん



重層的支援体制整備事業実施への変遷

	健康福祉総合相談 設置前	健康福祉総合相談 設置後（令和2年4月）	重層的支援体制整備事業実施後 （令和4年4月）
相談窓口	分野によって相談窓口がバラバラでわかりづらい	窓口が一本化されわかりやすくなった 制度の狭間にあるケースの相談も実施	
多機関との連携	各分野で対応・状況により連携	健康福祉総合相談担当が 関係機関と連携して対応	健康福祉総合相談課と社会福祉協議会の CSWを中心に各分野からの重層担当者が 連携して対応
支援の決定	各分野のケース会議等で決定		上記のメンバーで構成する支援会議・重 層的支援会議で決定（要綱設置）
参加支援事業	法に基づく対象者に対し、就労支援や準備支援等を実施		地域とのつながりや制度の狭間のニーズ に対応する <u>新たな支援事業を実施</u> （就労 準備支援の拡充ほか）
アウトリーチ事業	社会福祉協議会により訪問相談等を実施		ヤングケアラーやひきこもりなど継続的 な支援が必要な対象者に社会福祉協議会 により <u>伴走型の支援を実施</u>
予算計上	事業により一般会計と介護保険特別会計で計上		全て一般会計で計上

重層的支援体制整備事業のイメージ



包括的相談事業

各分野での相談の受け止め

「福祉まるごと相談シート」等で報告



多機関協働事業

支援会議・重層的支援会議

【重層担当リーダー】
健康福祉総合相談課
社会福祉協議会CSW

【重層担当】
障害支援課

健康福祉総合相談課
(高齢者支援グループ)
【重層担当】

地域包括支援センター
【重層担当】

子ども相談課
【重層担当】

アウトリーチ等を通じた 継続的支援事業

継続的な伴走による支援

参加支援事業

地域とのつながりや狭間の
ニーズにも対応する参加を
支援

地域づくり事業

既存事業の一般介護予防事
業、地域子育て支援拠点事
業などを実施

新たな受け皿「支援会議」・「重層的支援会議」を設置

重層担当リーダー（健康福祉総合相談課・社会福祉協議会CSW）が「旗振り役」として、部署の垣根を超えた各分野の重層担当で構成する会議を運営し、ケースの進捗も管理していく

【支援会議】 〈本人の同意がない〉（社会福祉法第106条の6）

- ・それぞれの機関で気になる事案の情報共有
- ・見守りや支援体制について検討

【重層的支援会議】 〈本人の同意が必要〉

- ・担当機関が作成した支援プラン（参加支援等）の適正性の協議や終結時の評価等
- ・社会資源の把握と開発にむけた検討

➔ ケース例：8050やヤングケアラーなどで、本人の同意が取れない段階では「支援会議」で関係機関で情報共有と支援体制の検討を行い、同意がとれれば「重層的支援会議」においてプランの適正性を協議する。



多機関協働事業

相談窓口・多職種連携会議

各相談窓口では、複合化・多様化した課題を抱えて、1つの機関では対応が難しいケースの対応もあり、日頃より分野を問わず、関係機関同士の間が重要となってくる。

そのための機会として、事例検討や各機関の役割紹介、グループワークを通じて、「顔の見える関係」づくりの提供を行う。

また、相談者・利用者が抱える課題の共有の機会とする。

(社会福祉協議会に委託)



アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

地域組織と連携し、住民の集いの場（拠点）を生かし、サロン機能に相談機能を併設した取り組みを実施。

① 各校区福祉委員会が実施する集いの場において、CSWによる出張相談会を開催（市内23か所）

⇒相談内容によりアウトリーチによる訪問相談、専門機関へのつなぎや他機関と連携した継続的支援を実施

② 地域組織（自治会、福祉委員会、民生委員・児童委員等）からの相談に応じ、相談支援活動を実施

（社会福祉協議会に委託）

参加支援事業

就労準備支援事業を制度の狭間に
あった人に向けて実施

今まで生活困窮者と被保護者だけが対象であったが支援の対象範囲を拡大。商店街の協力の元での地域のお手伝いを通して、生活経験・社会経験・就労体験を重ね社会参加の準備ができるようにする事業を実施。

(一般社団法人ステップフォワードに委託)



参加支援事業

新たな居場所を提供



クラカフェ：誰でも気軽に来所できるカフェをオープンし、会場に行くことができなくても作品を出展することで他者に鑑賞してもらい、感想など受け取ることで、社会とつながる機会となる。(毎週金曜日：ルファルひらかた社協)
長期休みにはこども企画（子ども向けの工作企画など）を行い、こどもの居場所づくりとしても実施

かるボラ～な：簡単なボランティア（ベルマークの整理等）を行うことで生きがいや社会参加の経験を増やしていく。

（毎月第3水曜日：ラポールひらかた 第4水曜日：
ルファル社協ひらかた） （社会福祉協議会に委託）



参加支援事業

介護に関する勉強会の開催

同じ課題を抱える市民が集うことができるように勉強会の開催。介護経験者から経験談を交えながら、介護に関する情報の勉強会や参加者同士の交流会を実施。

(不定期開催：ラポールひらかた)

⇒ケアラー同士が支え合える当事者会の立ち上げを旨とする

(社会福祉協議会に委託)

当事者や家族会の居場所づくりの拠点として（ルファル社協ひらかた、ラポールひらかた）

①障害当事者会と連携し、居場所や情報交換の場として「さわやかカフェ」を開催し、サロン活動を実施。当事者の助言やCSWによる相談機能も併設。

②ルファル社協ひらかたを当事者・家族会の居場所としての活用、地域住民が集まる機会の提供

例：気軽にいつでも囲碁や将棋ができる場所など

参加支援事業

ICTツールを活用した居場所づくり

スマカフェ

毎月第4月曜日に実施

タブレットなどを活用し、ICTツールをより身近に感じてもらえるようカフェ形式の活用講習会の開催や生活困窮者等が就労に関する情報収集するためにインターネットを気軽に利用できるようにスペースを開放する。

おもにそれぞれのスマホを活用し、個別で相談対応。

(ルファル社協ひらかた)

(社会福祉協議会に委託)

生活困窮者支援等のための地域づくり事業

小地域ネットワーク事業

地域の高齢の人、障害のある人、および子育て中の人など、みんなが地域の中で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合いや、助け合いを推進する事業です。

(社会福祉協議会に委託)

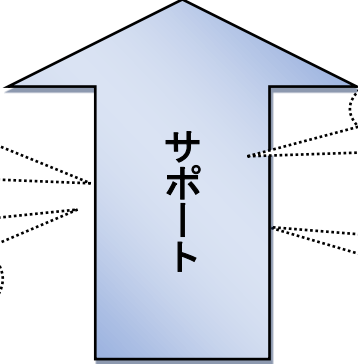


小地域ネットワーク活動
いきいきサロン、世代間交流
個別訪問、子育て支援 など



ボランティア講座や福祉体験等の講座を開催します。

地域福祉に関する情報を提供します。



活動・企画を一緒に考え、調整をお手伝いします。

気になる地域の悩みを包括的に聞きします。



しや きょう
〈社会福祉協議会〉

住みよいまちづくりをめざして地域福祉活動をサポートします！

ルファル社協ひらかた

ルファルとは…

フランス語で「灯台」を意味します。福祉分野において、様々な相談に対応し、課題解決の道しるべになれるような場所でありたいと命名しました。

枚方市社会福祉協議会 ルファルひらかた社協

- 3F 地域包括支援センター社協ふれあい
- 2F 地域支援センターゆい



1階

枚方市いきいきネット相談支援センター
⇒CSWによる相談支援事業を実施

「クラカフェ」・「かるボラ～な」

2階

地域支援センターゆい

⇒「地域活動支援センター事業1型」として障害のある人の地域生活を支援するため、創作活動やサロン活動等の支援や障害のある人や家族への相談支援事業等を実施

3階

枚方市地域包括支援センター社協ふれあい

ラポールひらかた（枚方市立総合福祉会館）

ラポールとは…

人と人との調和、信頼関係を意味するフランス語です。

会館を利用する人どうしの出会い・ふれあい、調和・信頼関係が広がるようにとの願いを込めて名付けました。

障害者・高齢者等の方への福祉サービスの充実や市民の福祉活動の促進を図ることを目的とした福祉ネットワークの拠点施設です。

【主な事業内容】

高齢者・障害者のデイサービス
温水プール
福祉相談
福祉情報の提供
貸室